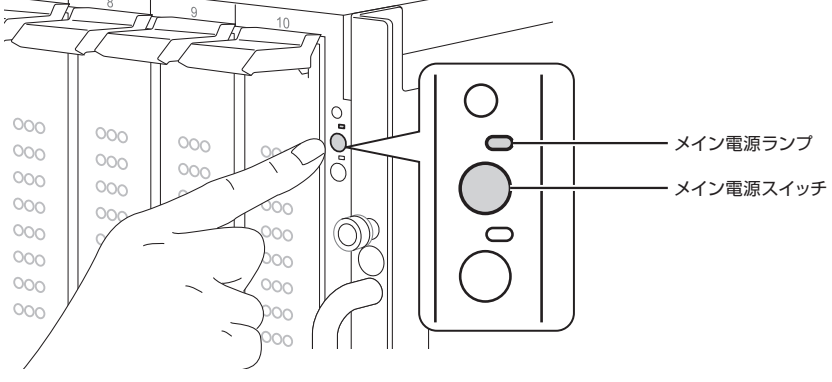


7

シャーシの電源を入れる

メイン電源ランプが緑色に点灯するまで、メイン電源スイッチを押し続けます。



メイン電源ランプ
メイン電源スイッチ

シャーシのメイン電源は、電源ケーブルを接続後2分以上経過してから入れてください。

8

OSインストールの準備をする

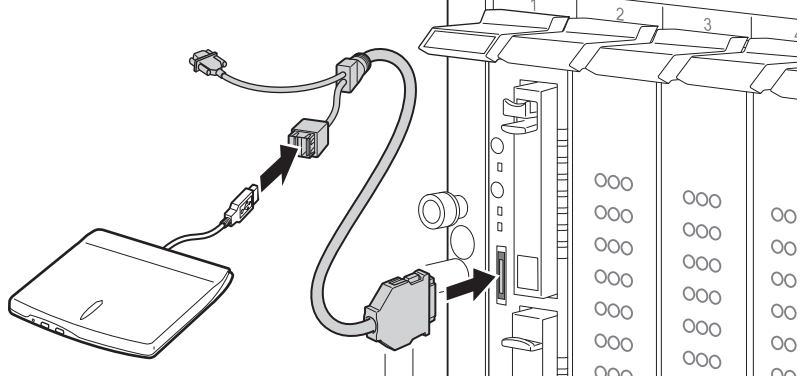
ServerView Suite DVDを確認する

OSのインストールには、インストールするサーバブレードに対応した「ServerView Suite DVD」を使用します。

- ・ シャーシとサーバブレードを同時に購入された場合は、シャーシに添付の「ServerView Suite DVD」を用意してください。
- ・ 別途サーバブレードのみを購入された場合は、サーバブレードと同時手配の「ServerView Suite」を用意し、以降の手順はサーバブレードに添付の「はじめにお読みください」をご覧ください。

DVDドライブを接続する

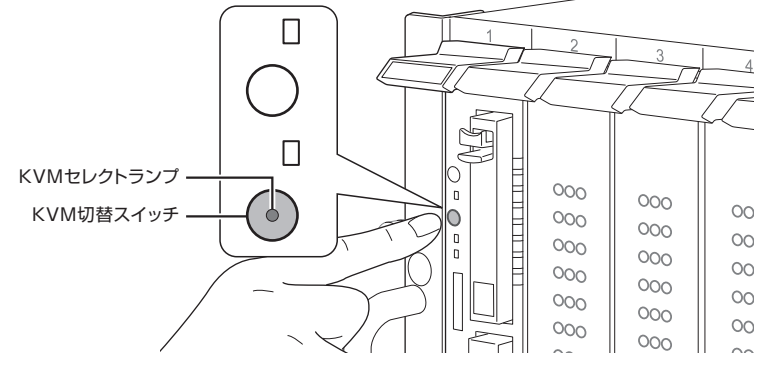
添付のディスプレイ / USB拡張ケーブルを使用して、DVDドライブ(USB)を接続します。



インストールに必要な機器以外は、インストールが完了してから接続してください。

KVMモジュールと接続する

作業を行うサーバブレードのKVM切替スイッチを押します。KVMセレクトランプが緑色に点灯し、KVMモジュール経由で入出力が行えるようになります。



KVMセレクトランプ
KVM切替スイッチ

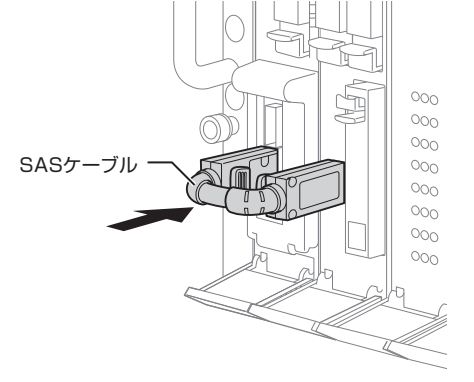
10

OSインストール後の操作

ServerView Suiteマニュアル、
『Software Manual』
アレイコントローラのマニュアル

ストレージブレードの接続 / 設定

ストレージブレードをお使いの場合は、図のようにサーバブレードとストレージブレードを添付のSASケーブルで接続してください。



SASケーブル

その後、アレイコントローラのマニュアルをご覧になり、アレイの構築を行ってください。

9

OSをインストールする

『ServerView Suite - ServerView Installation Manager』

ServerView Installation Manager (SVIM)を使用します。詳しくは、「ServerView Suite - ServerView Installation Manager」をご覧ください。
なお、Linuxを新規にインストールする場合は、SVIMを使用する前にインストールDVDを作成するなど、準備が必要です。

Windowsの新規インストール

1

SVIMでインストールを行います。

Linuxの新規インストール

1

インストールDVDを作成します。

インストールDVDは、RHN (Red Hat Network) からダウンロードして作成します。

RHNへの登録については、「Red Hat Network、サブスクリプションの登録方法」(<http://www.redhat.co.jp/FAQ/regist.html>)をご覧ください。

1. RHNにログインします。
2. ISOイメージの公開サイトを開きます。
インストールするディストリビューションを選択してください。
3. Binary DiscのISOイメージをダウンロードします。
RHNの画面にMD5チェックサムが表示されています。ダウンロードしたISOイメージのチェックサムが正しいか確認してください。
4. ダウンロードしたISOイメージから、インストールDVDを作成します。

2

富士通Linuxサポートパッケージ(FJ-LSP)を準備します。

FJ-LSPは、サポート契約されたお客様のみ対象となります。FJ-LSPは、富士通のSupportDesk契約者様向けサイト (SupportDesk Web : <http://eservice.fujitsu.com/supportdesk/>) からダウンロードしてください。

3

SVIMでインストールを行います。

SVIMのアプリケーションウィザードでFJ-LSPを適用してください。

VMwareの新規インストール

1

インストールDVDを作成します。

インストールDVDは、ヴァイムウェア株式会社のサイト (<http://www.vmware.com/jp/>) からダウンロードして作成します。
ダウンロードしたISOイメージから、インストールDVDを作成します。

ダウンロードを行うためには、ライセンス取得が必要となります。
詳しくは、「お客様登録とライセンス取得のご案内」[注] をご覧ください。
また、製品をご使用になる前にSupportDeskへの登録をお願いします。
[注] VMware/バンドルタイプをご購入の場合は、同梱されています。
それ以外の場合は、ソフトウェア製品をご購入いただく必要があります。

2

インストールDVDを使用してインストールを行います。

VMwareをインストールする場合は、SVIMは使用しません。
VMwareのインストール方法および使用時に留意すべき事項については、VMwareの「ソフトウェア説明書」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>) をご覧ください。

11

ネットワークブレードの設定 / 接続

スイッチブレード関連マニュアル

スイッチブレードを設定する

LANスイッチブレード、またはファイバーチャネルスイッチブレードをお使いの場合は、お使いの環境にあわせて各スイッチブレードのネットワーク設定をします。
詳しい手順、設定内容については、お使いのスイッチブレードのマニュアルをご覧ください。

1

管理端末からマネジメントブレードにログインします。

接続方法については、表面の⑥をご覧ください。

2

マネジメントブレードのConsole Redirection機能を使用して、設定を行うスイッチブレードに接続します。

1. 「(3)Console Redirection」→「(2)Console Redirect Switch Blade」の順に選択します。
2. 設定するスイッチブレードの搭載されたスロットを選択します。
ターミナルソフトウェアの画面に、スイッチブレードのログイン画面が表示されます。
3. 各スイッチブレードに設定された初期アカウントで、スイッチブレードにログインします。
初期アカウントについては、各スイッチブレードのマニュアルをご覧ください。

3

ファームウェアの版数を確認します。

1. スwitchブレードのファームウェアの版数を確認します。
詳しくは、それぞれのスイッチブレードのマニュアルをご覧ください。
2. Webブラウザで「PRIMERGY」ページの「ダウンロード」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>)を開き、「ダウンロード検索」をクリックします。
3. 製品名および型名にお使いの製品を選択し、カテゴリに「ファームウェア」、OSに「OS選択なし」を選択します。
4. 「添付ソフト / ドライバ名称」欄にお使いのスイッチブレードの型名を入力し、「検索開始」をクリックします。
5. 表示された一覧から最新のファームウェアのバージョンを確認します。
6. 手順1で確認したファームウェアが最新でない場合は、最新のファームウェアをダウンロードして更新します。
ファームウェアの更新手順は、ダウンロードしたファームウェアのドキュメントをご覧ください。

4

スイッチブレードに必要な設定を行います。

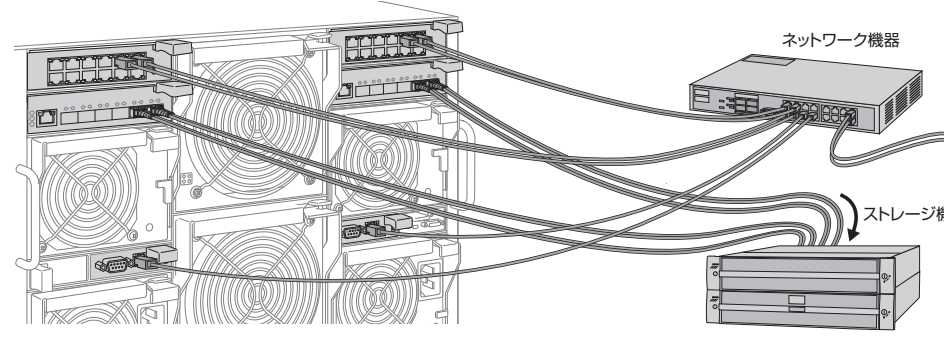
管理者パスワードや時刻設定、IPアドレス、VLANの設定など、お客様環境に応じたネットワーク設定を行います。
詳しくは、それぞれのスイッチブレードのマニュアルをご覧ください。

セキュリティ確保のため、必ず管理者パスワードを設定してお使いください。

ケーブルを接続先機器に接続する

⑤

で接続したLANケーブルおよびファイバーチャネルケーブルの反対側を、ネットワーク機器やストレージ機器などに接続します。



注意事項

使用許諾契約書

富士通株式会社(以下弊社といいます)では、本サーバにインストール、もしくは添付されているソフトウェア(以下本ソフトウェアといいます)をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。
なお、お客様が本ソフトウェアの使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本サーバでのみ使用できます。なお、お客様は本サーバのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用(バックアップ)媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用(バックアップ)媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア(本サーバに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用(バックアップ)媒体を含みます)を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたサーバとともに本ソフトウェアのすべての譲渡を譲渡することとします。なお、お客様は、本サーバに添付されている媒体を本サーバとは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 保証の範囲
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本サーバをご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥(破損等)等がある場合、本サーバをご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害(逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします)に関して一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記(1)の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
8. ハイセイティブ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイティブ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイティブ用途に要する安全性を確保する措置を怠ることなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイティブ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
Red HatおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010
⑦ 1008-1

FUJITSU